

名古屋市歴史的風致維持向上計画 (概要版)

名古屋は、古くは濃尾平野を治めた古代豪族・尾張氏の拠点で、江戸時代には御三家筆頭である尾張徳川家の城下町として、また近代以降は我が国における経済産業の一大拠点として発展してきました。これらの重層的で多様な歴史を背景に、市内には歴史的資源が多く残されています。

名古屋市では、平成 23 年 3 月に、歴史を元気あるまちづくりにいかす「歴史まちづくり」の基本方針として「名古屋市歴史まちづくり戦略」を策定しました。

この計画は、「名古屋市歴史まちづくり戦略」を具体的にすすめるために、歴史まちづくり法^{*1}に基づいて作成するものです。

《計画作成の意義》

- ・歴史的建造物^{*2}と伝統的な人々の営みが一体となった「歴史的風致」をまとめ、多くの市民に知っていただくとともに、維持向上させるための各種事業を行い、歴史を大切にしたいまちづくりの推進につなげる。
- ・国の認定により、歴史まちづくりを進めるための国庫補助の拡充を受けられる。
- ・国の認定により、名古屋市が京都市・金沢市・高山市などと並んで歴史都市として位置付けられ、歴史まちづくりの一層の推進が図られる。

*1 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律(平成20年11月施行)

*2 建造物とは、建築物に加え古墳や公園、道路等、人工的なものの総称

■歴史的風致とは

歴史まちづくり法では、歴史的風致を「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」と定義しています。

歴史と伝統を反映した人々の営み

歴史的風致

歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地



維持向上すべき歴史的風致

名古屋市内には、長い歴史の中で人々が積み上げ、継承してきた様々な歴史的風致が存在しています。その中で、名古屋城と城下町をはじめ、名古屋市の歴史的骨格を形づくっている要素を中心に、「維持向上すべき歴史的風致」を以下の6項目にまとめました。

1 名古屋城と名古屋城下町を舞台に展開した祭礼に見られる歴史的風致

- ・ 東照宮、那古野神社、若宮八幡社と江戸時代から本町通周辺で盛大に行われている祭り
- ・ 建中寺とその周辺で曳き出される歴史ある山車祭り など

2 熱田神宮等に見られる歴史的風致

- ・ 熱田神宮の本宮、西楽所等の歴史的建造物と熱田祭などの長い歴史を持つ様々な伝統行事
- ・ 断夫山古墳、氷上姉子神社とそれにまつわる営み など

3 尾張氏ゆかりの地、志段味に見られる歴史的風致

- ・ 志段味地区に残る尾張氏のルーツを物語る古墳群とその古墳の上に立地する神社の茅の輪くぐりなどの伝統行事

4 堀川・四間道界隈に見られる歴史的風致

- ・ 四間道界隈の土蔵群や下町情緒の残る細い路地と屋根神信仰、地藏盆、浅間神社の祭り

5 街道や城下町の周辺地域等に見られる歴史的風致

- ・ 有松の歴史的町並みと山車祭りなど、市内の古い街道沿いの歴史的建造物と伝統行事
- ・ 尾張四観音と恵方参り、節分会

6 大都市名古屋の発展過程に見られる歴史的風致

- ・ 鶴舞公園、揚輝荘等の歴史的建造物と公園における市民の営みや伝統行事
- ・ 戦災復興に由来する広幅員の道路と名古屋まつり



名古屋城と名古屋城下町を舞台に展開した祭礼に見られる歴史的風致



東照宮祭

那古野神社祭礼

若宮祭

江戸時代、名古屋城下では山車などが出される祭りが華やかに行われていました。主要な祭りであった東照宮祭、三之丸天王祭（現・那古野神社祭礼）、若宮祭は、形を変えながら現在も本町周辺で続けられています。これら祭りの影響を受けて山車が曳かれるようになった建中寺周辺の筒井・出来町（東区）や堀川にほど近い広井（中村区）には、今も多くの山車が残されており、地域の祭りなどに曳き出されています。

堀川・四間道界隈に見られる歴史的風致

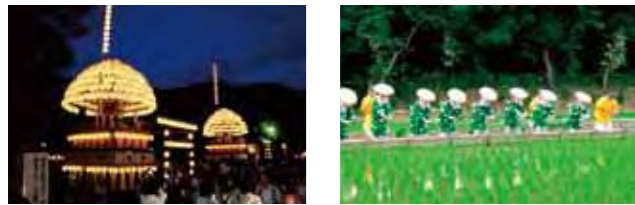


屋根神

子守地藏尊 地藏盆

名古屋城と城下町の建設にあわせて開削された堀川は、城下町に物資を運び、名古屋の発展に大きく貢献しました。堀川沿いに形成された町のひとつである四間道界隈では、今でも蔵の立ち並ぶ景観や昔ながらの路地を背景に屋根神信仰、地藏盆、浅間神社の祭りなどが行われ、下町情緒を醸し出しています。

熱田神宮等に見られる歴史的風致

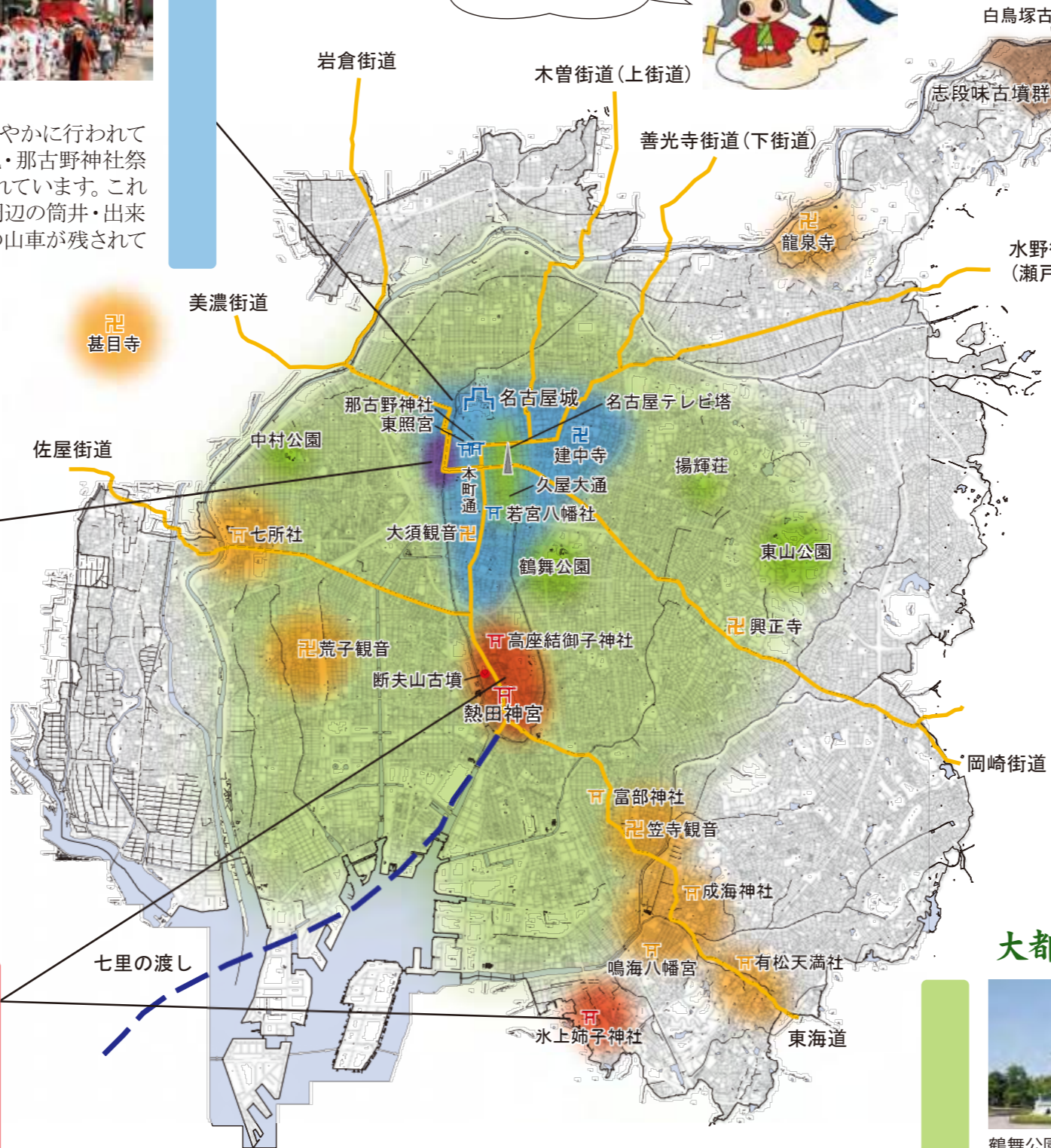


熱田祭

大高斎田御田植祭

熱田神宮等には、中世以前にさかのぼる神事など様々な伝統行事が今も続けられています。本宮などで行われる熱田祭（例祭）に出される献灯まきわらは、かつて熱田の人々に出された山車に由来するものです。また、市内には、熱田神宮ゆかりの古墳や神社が多く、宮貴媛命ゆかりの断夫山古墳では御陵墓祭が、大高の氷上姉子神社に隣接する斎田では熱田神宮へ奉納する稲を植える御田植祭が行われています。

名古屋にはいろんな歴史的風致があるね！



尾張氏ゆかりの地、志段味に見られる歴史的風致



尾張戸神社 茅の輪ぐり

勝手社 提灯祭り

上志段味地区には、市内最古の大型前方後円墳である白鳥塚古墳をはじめ、多くの古墳が残されており、古代に活躍した尾張氏のルーツの地とも考えられています。古墳の上に建立された尾張戸神社や勝手社では、伝統行事が行われ、地域の歴史を感じることができます。

街道や城下町の周辺地域等に見られる歴史的風致



有松の町並みと祭り

荒子観音 節分会

市内の古い街道沿いには、多くの歴史的資源が残されています。絞りで栄えた有松では、歴史的な町並みを背景に山車が出る祭りが行われ、市内有数の美しい歴史的風致を形成しています。

江戸時代から、尾張四観音として人々に親しまれた荒子観音、龍泉寺、笠寺観音、甚目寺（あま市）には、今も節分の行事とともに恵方参りの風習が残り多くの人々が訪れます。

大都市名古屋の発展過程に見られる歴史的風致



鶴舞公園

揚輝荘 お帳綴じ

名古屋まつり

明治時代以降、名古屋は目覚ましい産業発展を遂げ、港・道路・運河などが整備されました。鶴舞公園などの大公園もつくられ、市民の憩いの場として歴史を重ねてきました。この時期に財界人の別荘としてつくられた揚輝荘も当時の文化を現代に伝える貴重な歴史的風致です。

戦災からの復興を契機に始まった名古屋まつりは、広幅員の道路や名古屋テレビ塔など戦災復興のシンボルを背景に、半世紀以上にわたって開催され、名古屋の歴史の一部となっています。

歴史的風致の維持及び向上に関する方針

名古屋市歴史まちづくり戦略の基本理念

「語りたくなるまち名古屋」の実現



歴史的風致の維持及び向上に関する方針 (名古屋市歴史的風致維持向上計画)

(1) 歴史的建造物の保存等に関する方針

- 指定・登録文化財、景観重要建造物等の制度を活用します。
- 身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定します。等

(2) 歴史的町並みの保存等に関する方針

- 町並み保存地区における町並みの保存・景観の向上を図ります。
- 案内板の再整備や新たな周遊ルートの設定など歴史を巡る環境の整備を行います。等



無電柱化による景観の向上

(3) 歴史的建造物や町並みの活用と歴史まちづくりを支える人・仕組みづくりに関する方針

- 「なごや歴まちびと」を養成・派遣して、歴史的建造物の所有者を支援します。
- 歴史まちづくりへの参加を呼び掛けるイベントの開催・情報発信等を進めます。等



なごや歴まちびとによるワークショップ

(4) 伝統行事・文化、伝統産業などの支援に関する方針

- イベントや講演会等を通して伝統行事・文化、伝統産業への理解を広めます。
- 地域の多様な主体による、自主的なまちづくり活動を促進します。等

歴史的風致の維持向上を図る事業

歴史的風致の維持及び向上に関する方針に基づき、歴史まちづくりに関する事業を市内各所ですすめていきます。

- 名古屋城本丸御殿の復元
- 名古屋城西南隅櫓の半解体修理
- 名古屋城石垣の整備
- 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備
- 名古屋城二之丸庭園の整備
- 世界の金シャチ横丁(仮称)構想の推進
- 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写
- 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理
- 「歴史の里」整備事業
 - 古墳等の整備
 - 全体ネットワーク化事業
 - 公開活用事業



<重点区域>

- ① 名古屋城周辺地区(約1,040ha)
- ② 熱田地区(約190ha)
- ③ 志段味地区(約290ha)

<市内全域で行う事業>

- 史跡名勝標札、史跡散策案内板等設置事業
- 歴史的建造物の登録・認定
- なごや歴まちびとの派遣
- 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業
- まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援(荒子・四間道等)
- 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業
- 伝統産業若手育成事業助成
- 伝統産業新商品開発事業助成
- 伝統産業製品PR事業助成
- 名古屋市民芸術祭
- なごや子どものための巡回劇場
- 名古屋市民芸術文化団体活動助成

主な事業

名古屋城本丸御殿の復元

戦災で昭和 20 年に焼失した名古屋城本丸御殿の、史実に基づく忠実な復元を行う。

平成 25 年 5 月 29 日に第 1 期公開（玄関・表書院）を開始。
平成 30 年度完成予定。



本丸御殿復元イメージ

文化のみちの推進

名古屋城から徳川園に至る一帯を「文化のみち」として育み、「文化のみち二葉館」「文化のみち榎木館」の管理運営や、旧豊田佐助邸・春田鉄次郎邸などの貴重な建築遺産の保存活用を進める。



文化のみち二葉館

本町城下町歴史案内板等整備事業

名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、名古屋城への来訪者を「本町城下町エリア」に引き出すため、歴史を紹介する案内板や山車の模型、名古屋城から本町門へのアプローチの整備などを行う。



山車の模型イメージ

尾張名所図会看板の整備

熱田地区において、市民の歴史に関する関心と歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した尾張名所図会の看板を設置する。



看板イメージ

「歴史の里」整備事業

貴重な文化財である国史跡白鳥塚古墳をはじめとする志段味古墳群の保存を行うとともに、郷土の歴史・文化の学習と自然体験ができる体験型の施設の整備を行う。



白鳥塚古墳

歴史的町並み保存事業(有松、白壁・主税・榎木、四間道、中小田井)

市内に残る歴史的な町並みを保存するため、「有松」、「白壁・主税・榎木」、「四間道」、「中小田井」の 4 地区を町並み保存地区に指定し、地区内の建造物の修理・修景に対して指導・助言及び補助を行う。



四間道町並み保存地区

歴史的建造物の登録・認定

市内に残る歴史的建造物の周知、及び保存・活用に向けた気運の醸成を図るため、保存・活用の意向が認められる建造物について「登録」「認定」を行う。



認定地域建造物資産

歴史的風致でたどる名古屋の一年

スタート

1/1
初詣

新年の行事 (熱田神宮)

1/7 世様神事
1/11 踏歌神事
1/15 歩射神事

1/11
お帳綴じ
揚輝荘

2/3頃

節分

荒子観音・笠寺観音
・龍泉寺・大須観音
など



2月中旬
(旧 1/17)

きねこさ祭
七所社

3~6月
鶴舞公園
花まつり

3月
最終日曜日

だいだいかくら
太々神楽
ひかみあねごじんじゃ
氷上姉子神社

4/16・17
とうしょうくうさい
東照宮祭
東照宮

5/1
ぶがくしんじ
舞楽神事
熱田神宮

5/15・16

わかみやまつり
若宮祭

若宮八幡宮
~ 那古野神社

5/8
ほうねんさい
豊年祭 (熱田神宮)
ごりょうぼさい
御陵墓祭 (断夫山古墳、
白鳥古墳)

5/4 えようどしんじ
醉笑人神事
5/5 しんよとぎよしんじ
神輿渡御神事
熱田神宮



6月
第4日曜日

おおだかさいでん お たうえさい
大高斎田御田植祭

6/5

あつたまつり
熱田祭
熱田神宮など

6月
第1土日

つついちょう
筒井町・
出来町天王祭
でままちてんのうさい
建中寺・徳川園周辺

7月

ち
茅の輪くぐり
あわりべじんじゃ
尾張戸神社など

7月

平針「木遣り音頭」
針名神社

7/15・16
なごやじんじゃさいれい
那古野神社祭礼
那古野神社
~ 若宮八幡社

8月

ちょうちんまつ
提灯祭り
勝手社など

8/24
じそうぼん
地藏盆

こもりじぞうそん
子守地藏尊など

ゴール!

12/31
大晦日

11月~
新酒の蔵出し
北区・守山区
・緑区

11月中旬
七五三
市内各所

10月
第3土日
名古屋まつり
栄周辺など

秋祭り いろいろ

10/1・2 せんげんじんじゃさいれい (しけみち)
浅間神社祭礼 (四間道)
10月第1日曜日 有松天満社祭礼
10月中旬 鳴海の祭り
10月頃 棒の手 (千種区・港区・瑞穂区・
南区・守山区・名東区)
など

名古屋市歴史的風致維持向上計画の本編は、名古屋市公式ウェブサイト
(<http://www.city.nagoya.jp/>) からダウンロードいただけます。

【ご意見・お問合せ】

名古屋市住宅都市局
歴史まちづくり推進室
(市役所西庁舎)

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話番号: 052-972-2782 ファックス番号: 052-972-4485
電子メールアドレス: a2782@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

